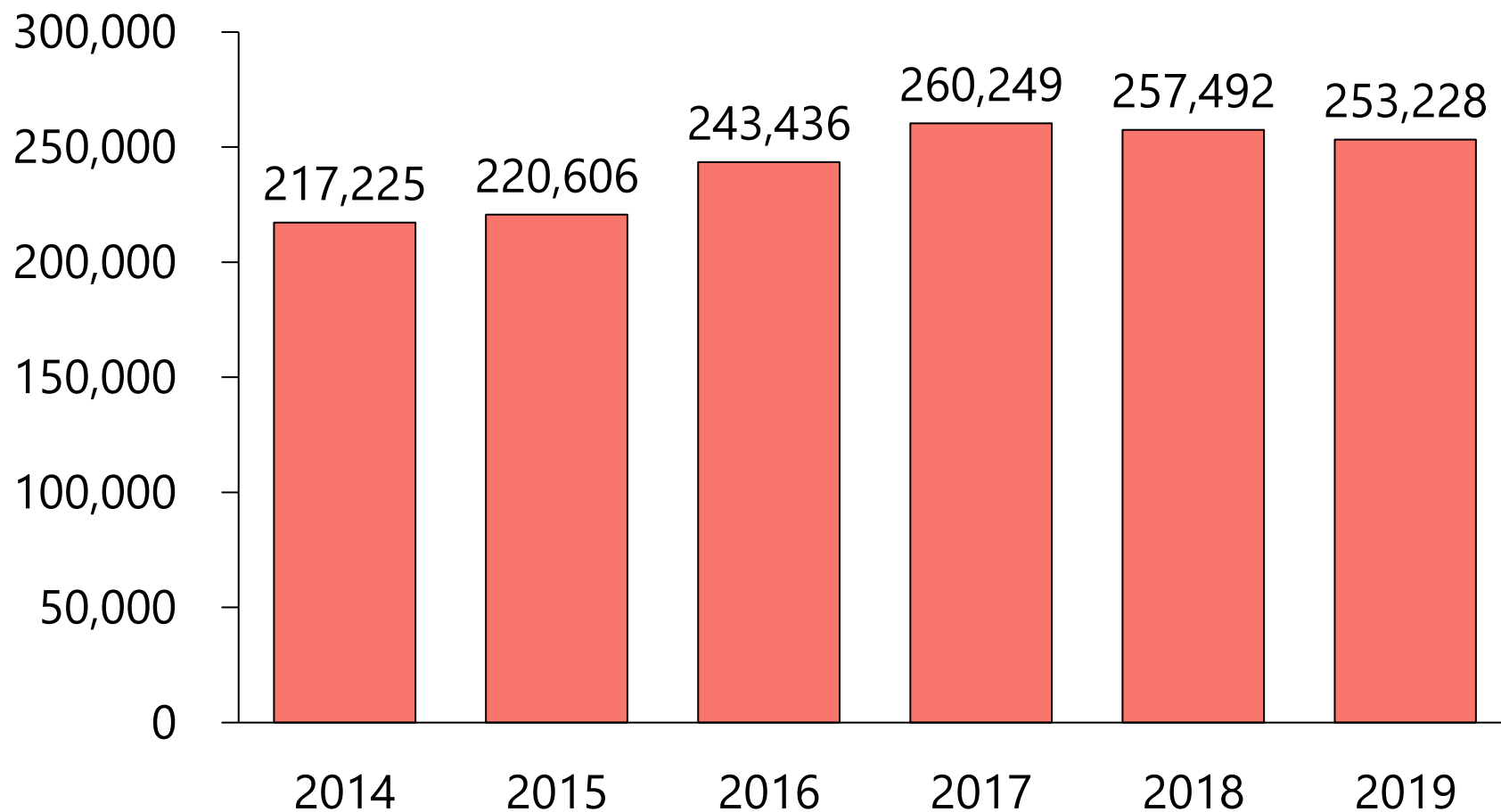


J-PCIレジストリー2019集計結果

小倉記念病院
山地杏平

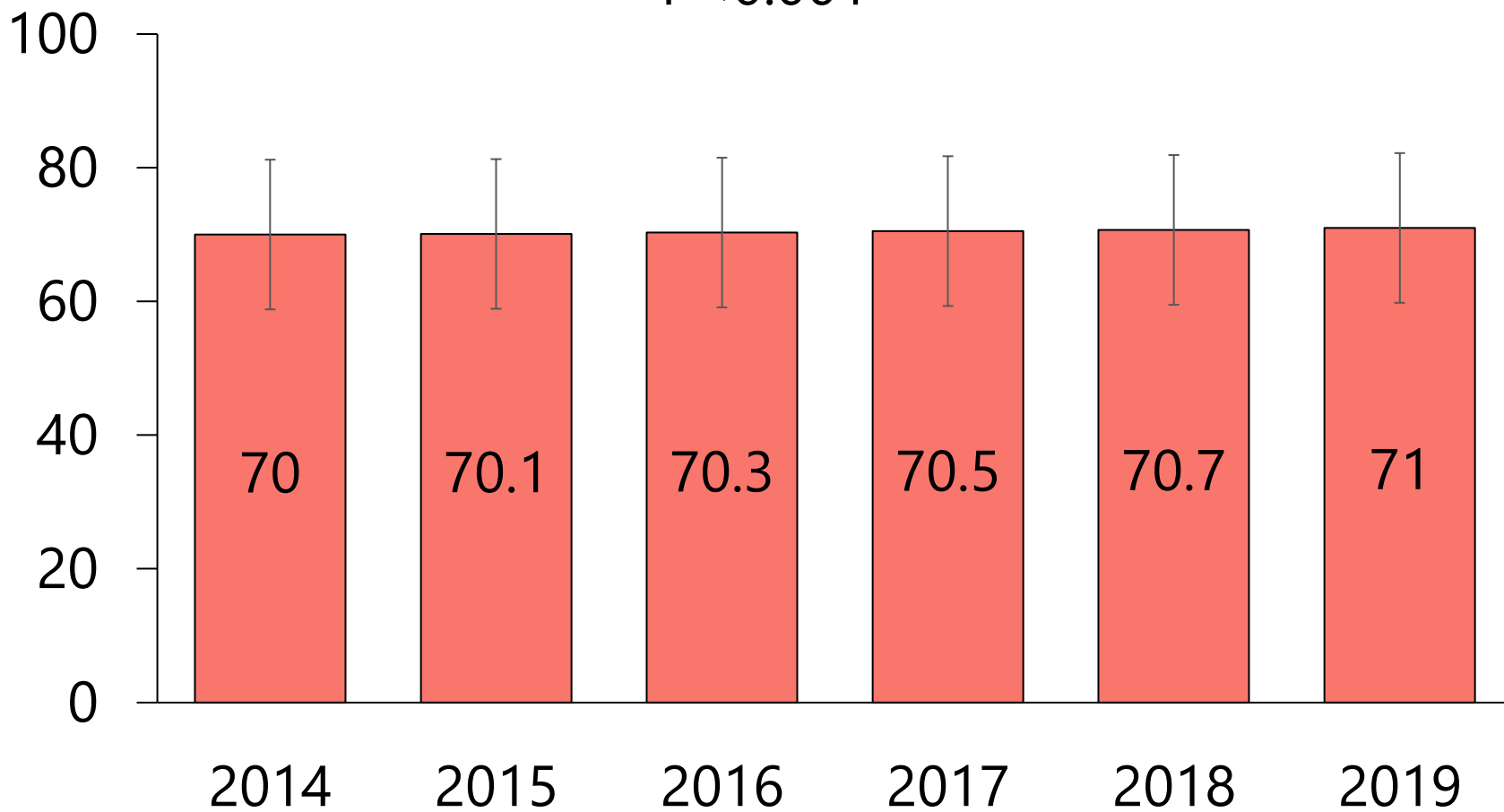
J-PCI登録データ数

合計 1,452,229件, 1187施設

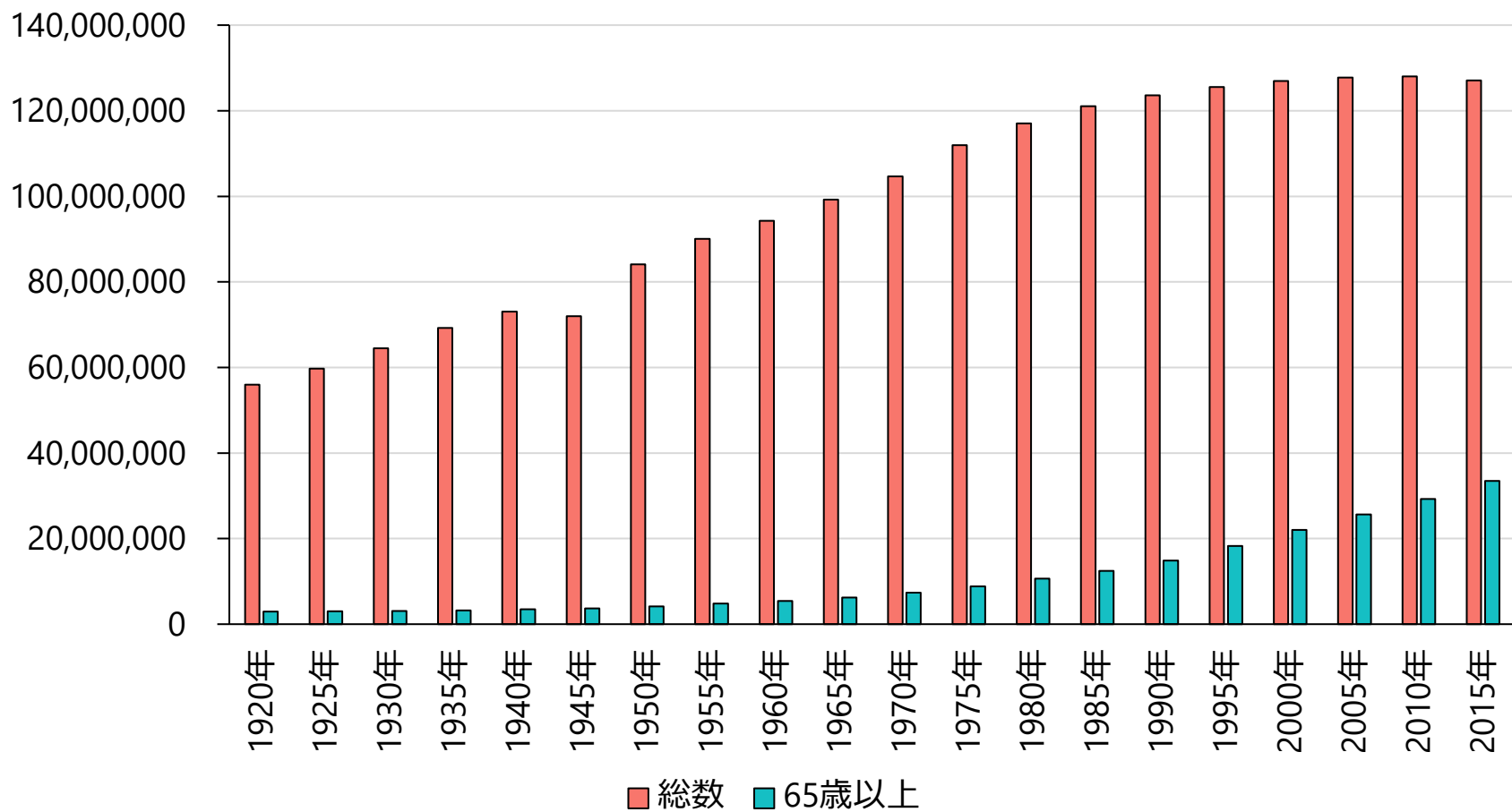


平均年齡

$P < 0.001$

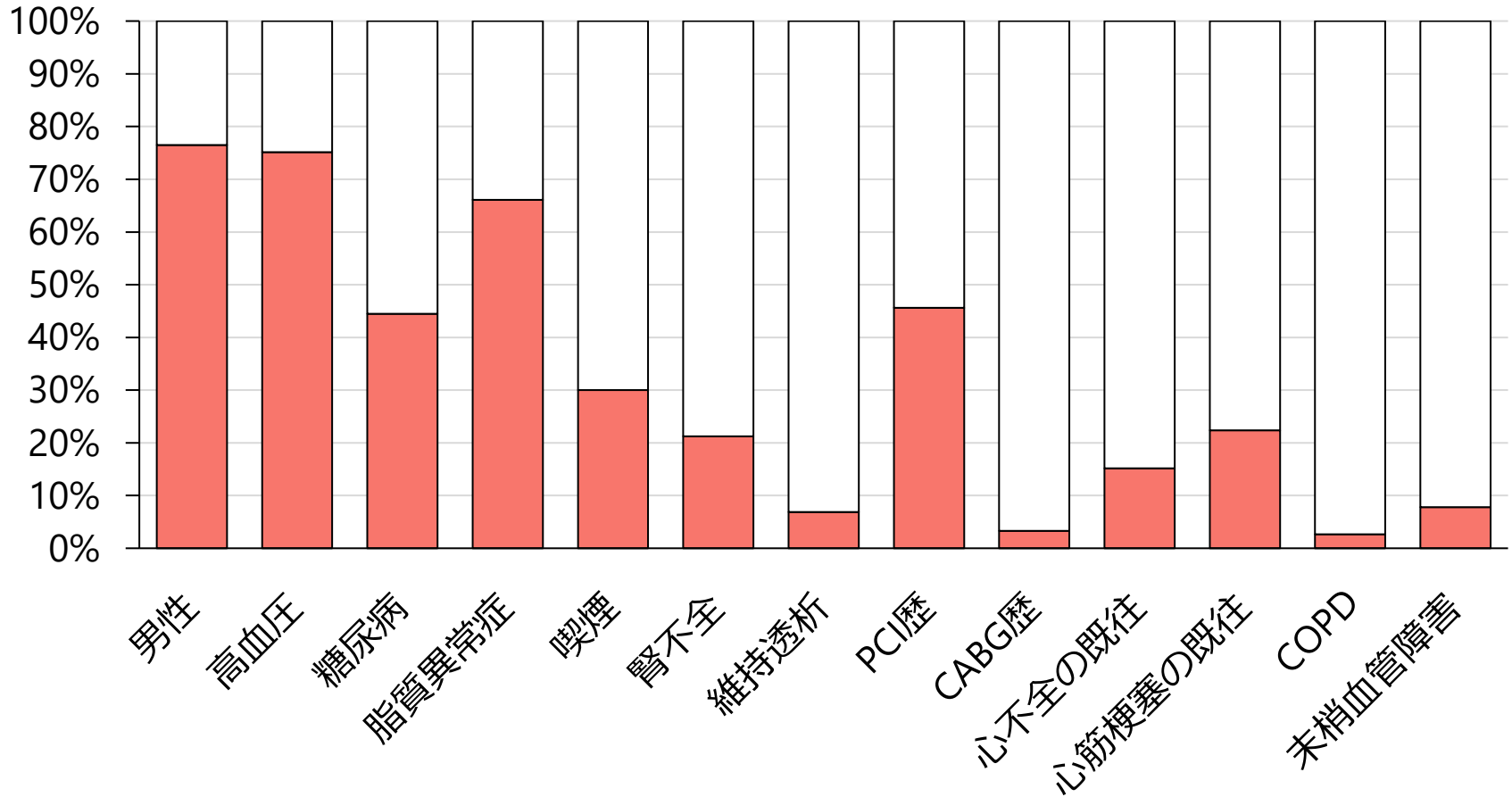


日本の人口

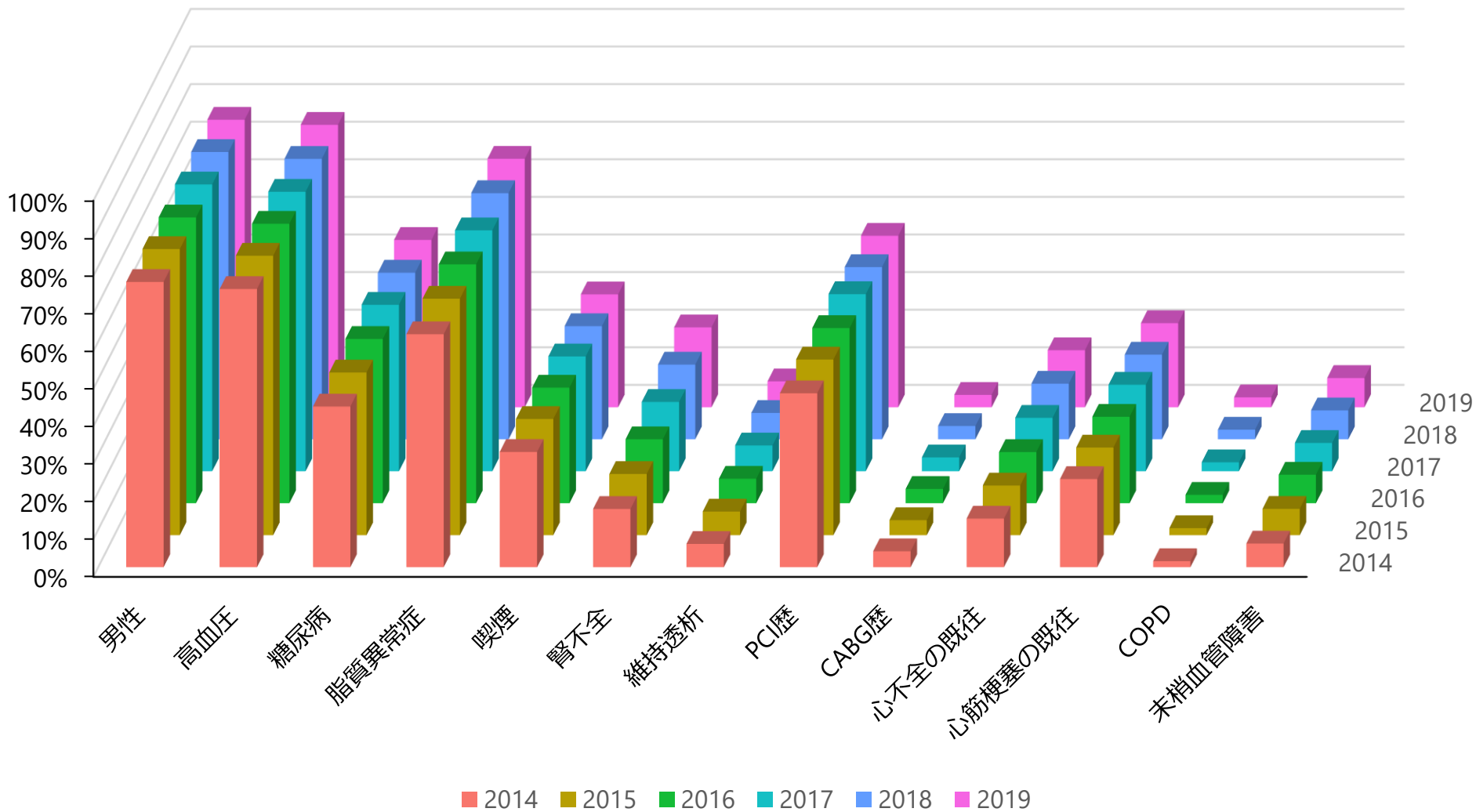


国勢調査

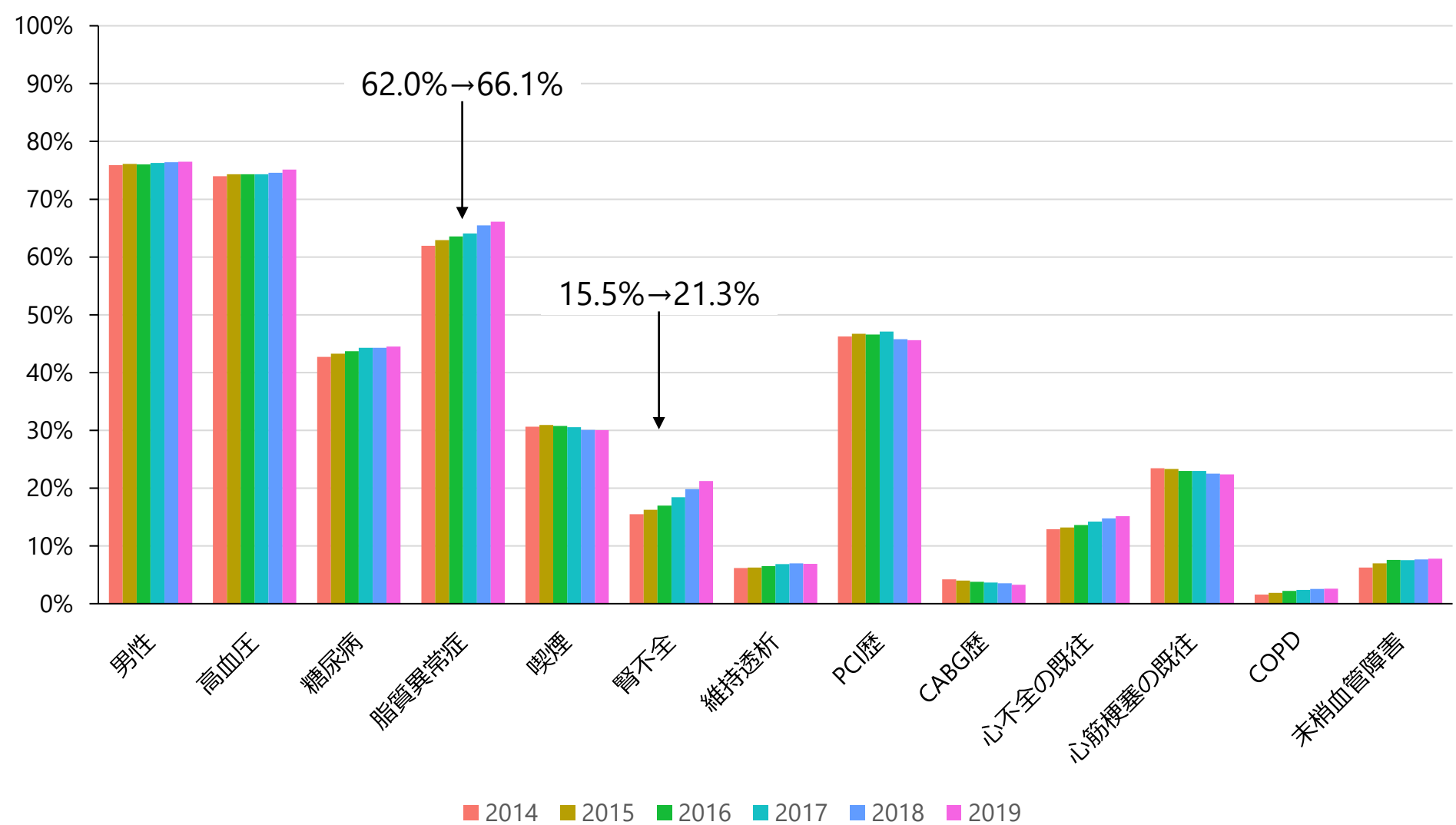
リスク因子



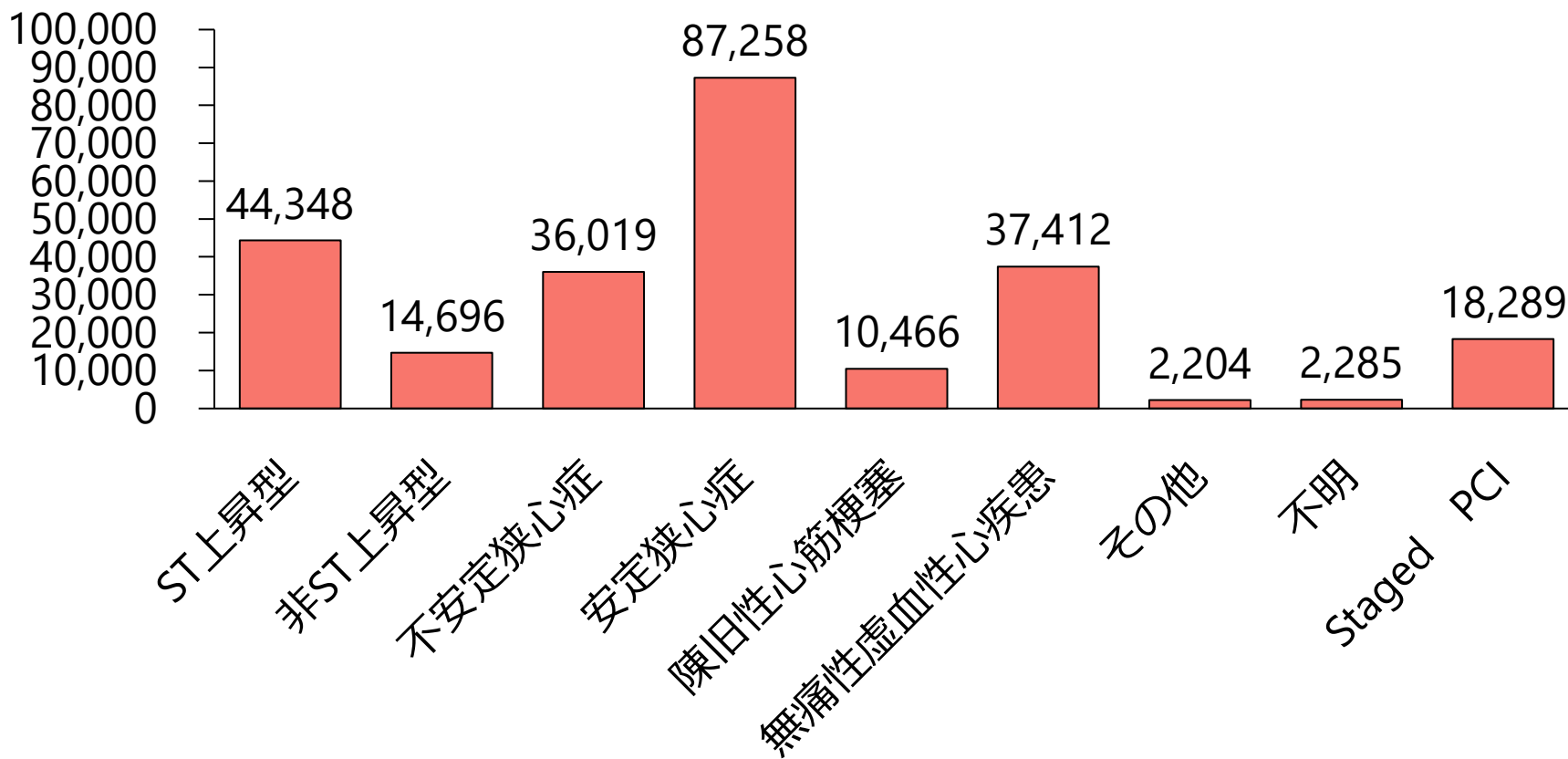
リスク因子



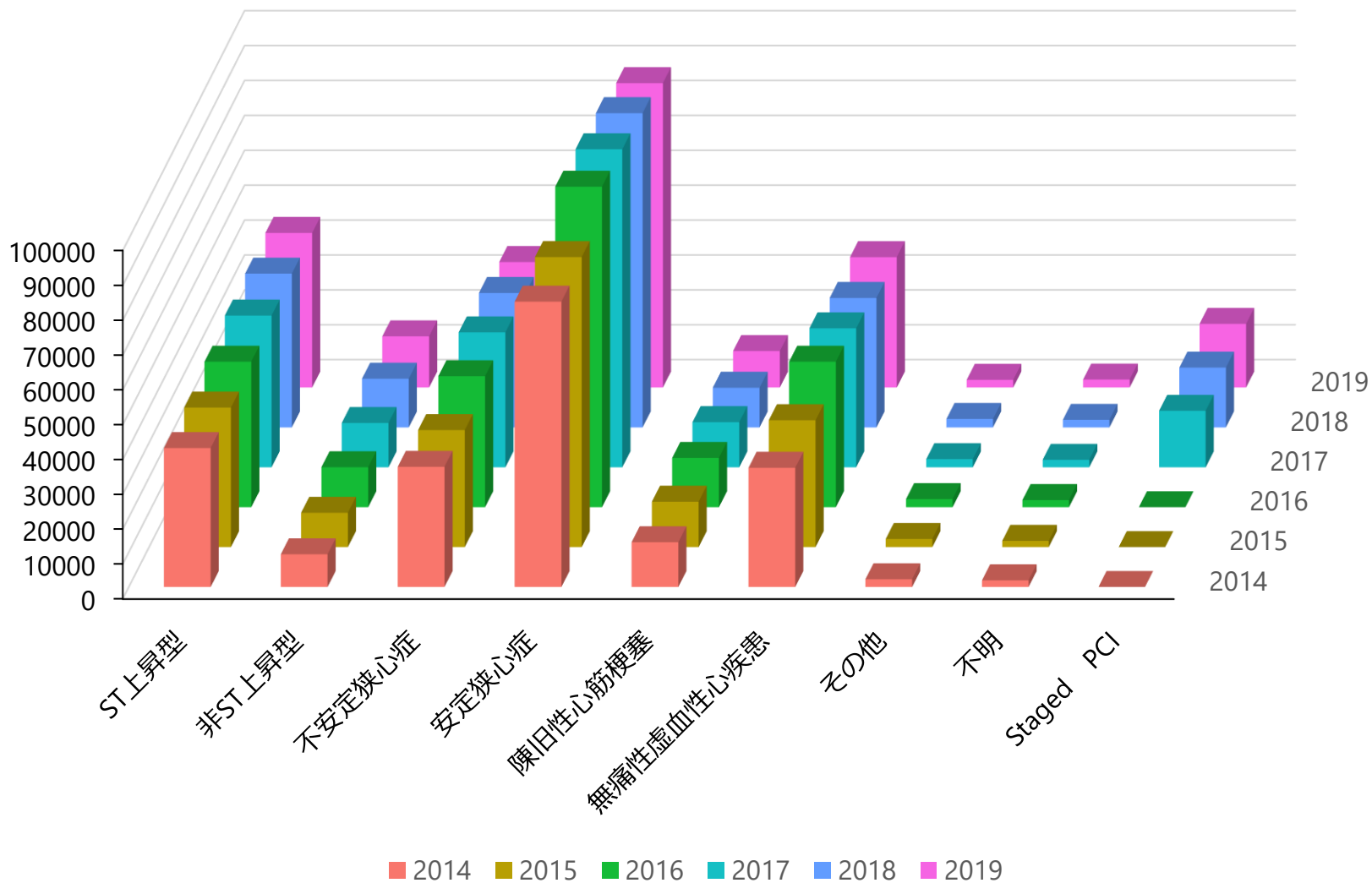
リスク因子



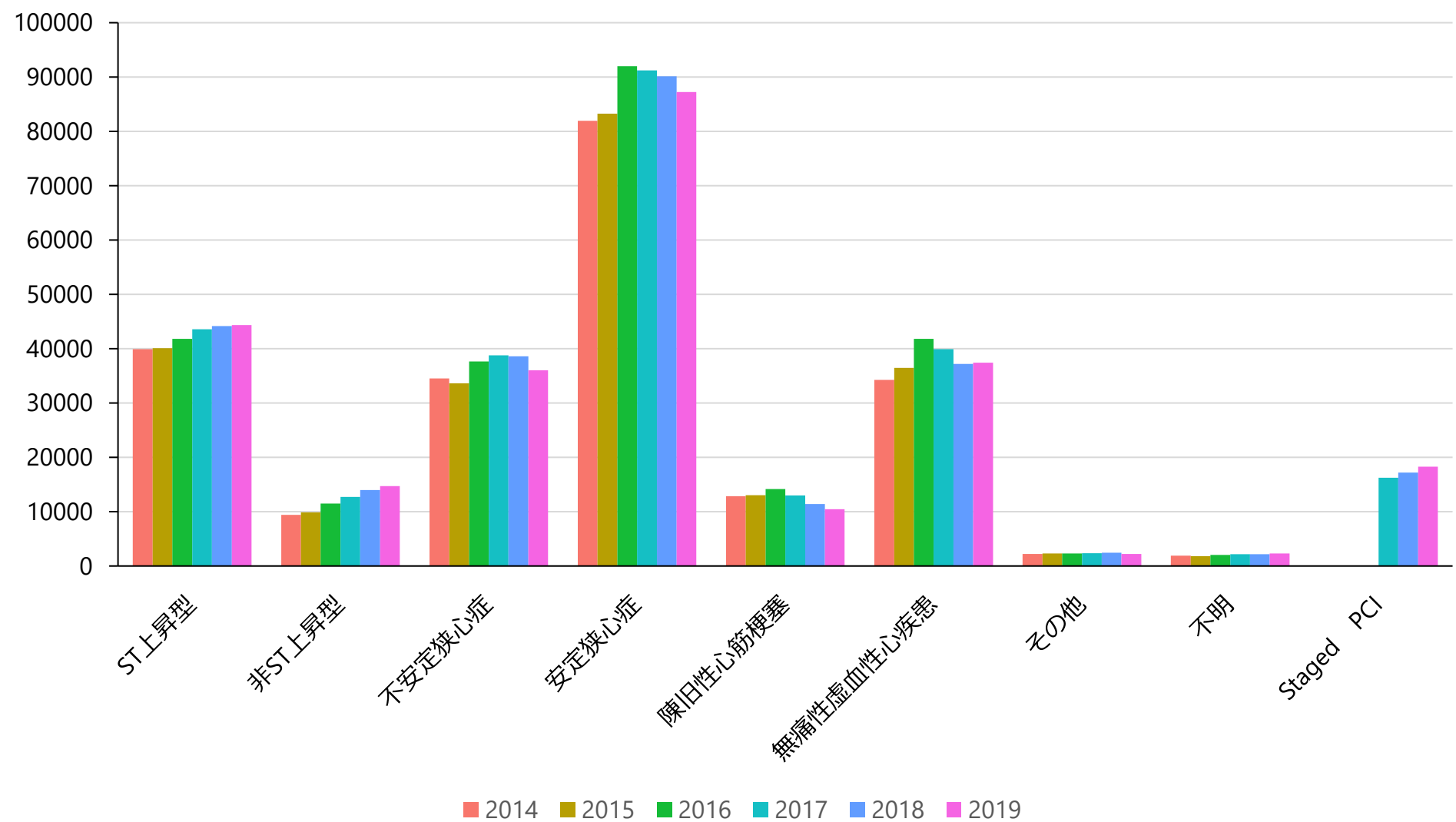
診断名



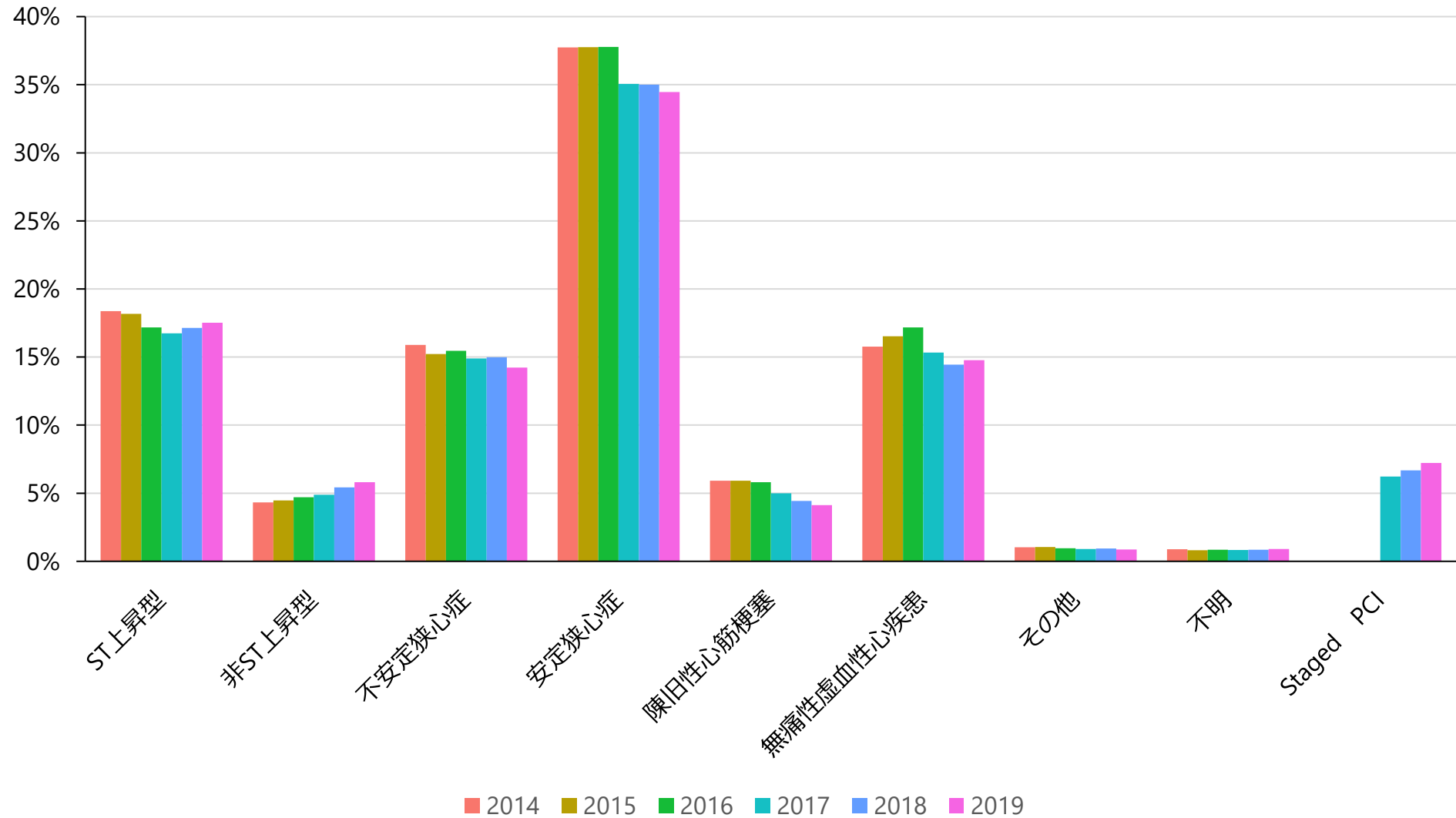
診断名



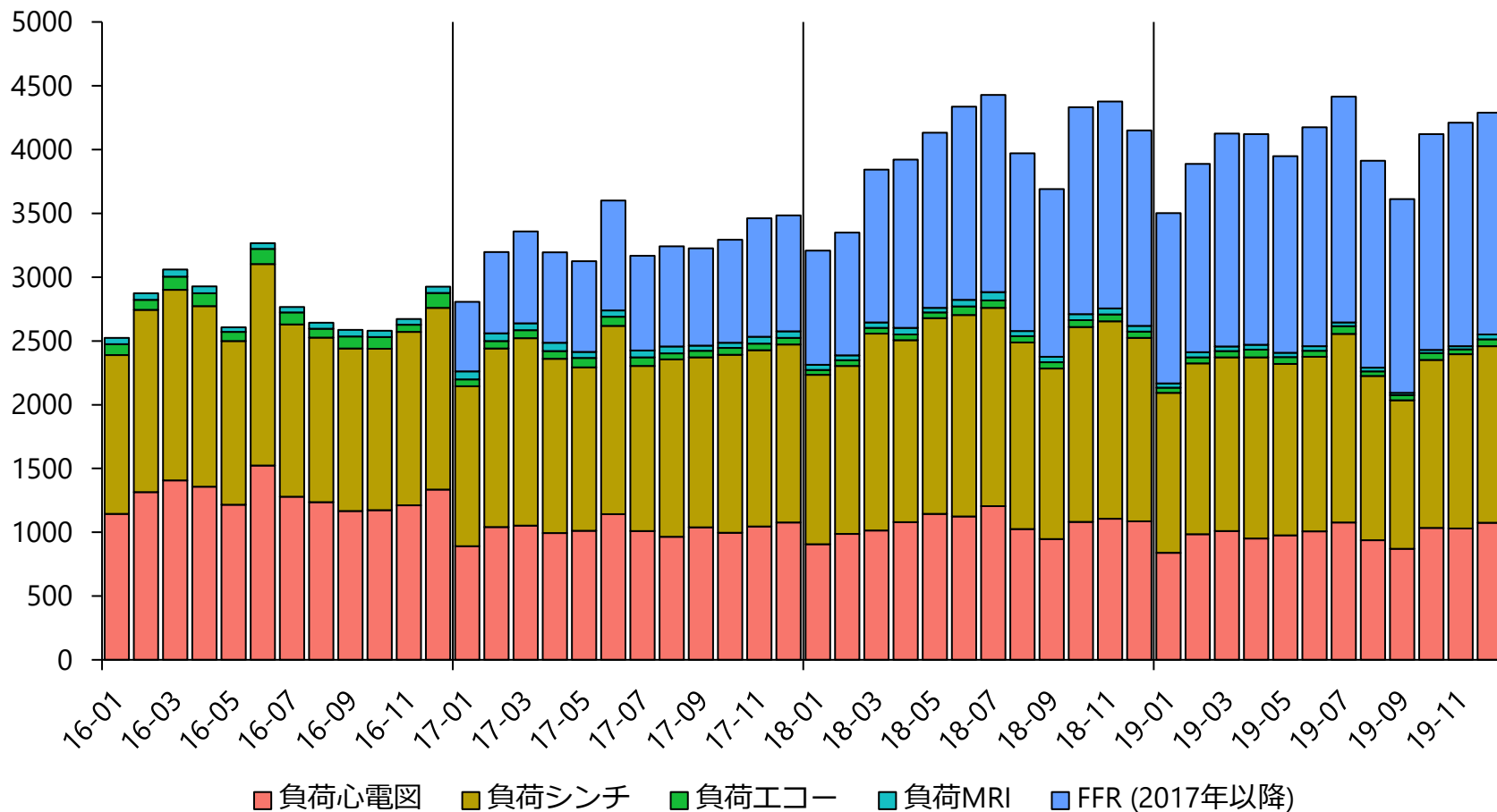
診断名 (症例数)



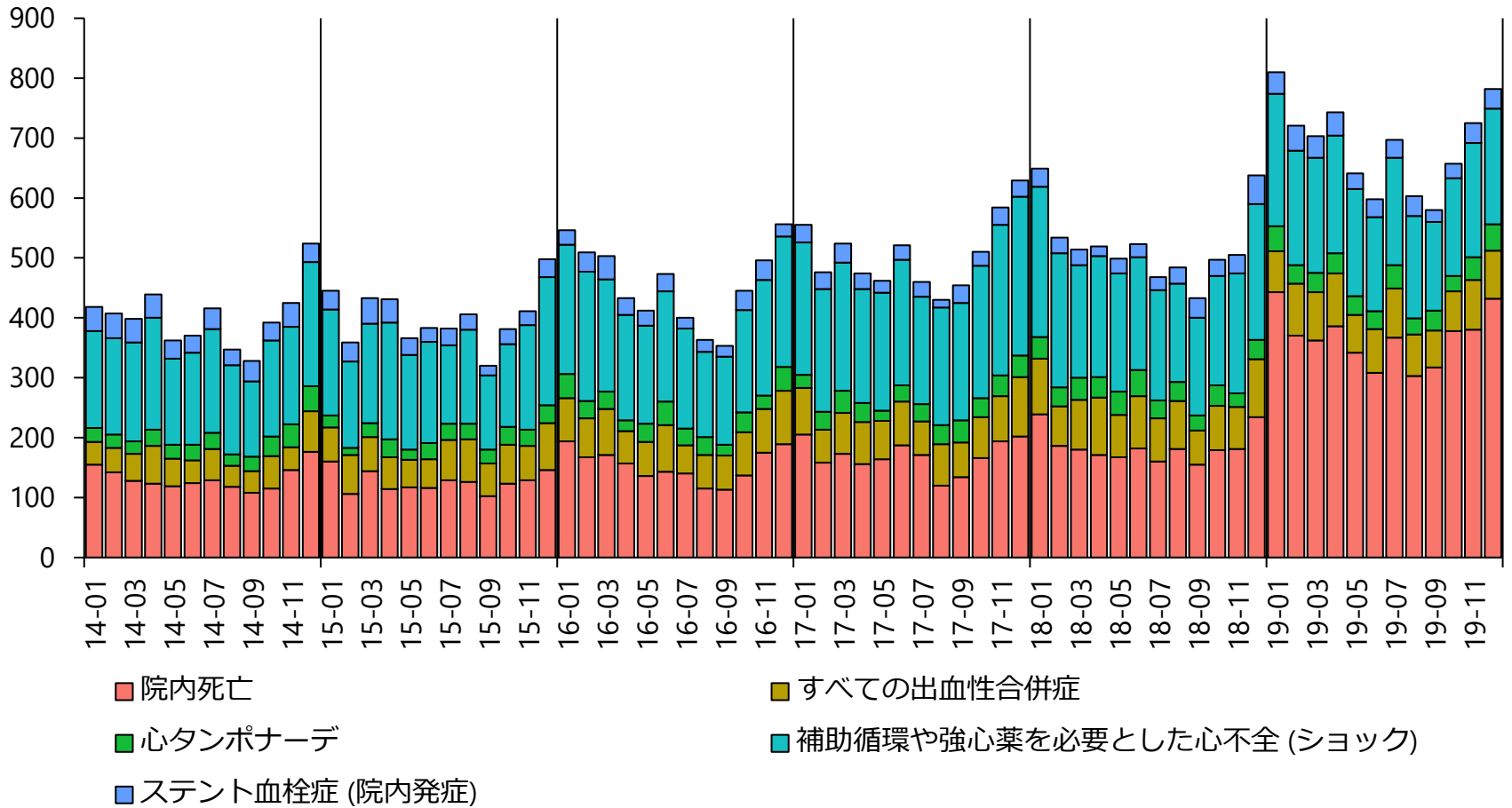
診断名 (%)



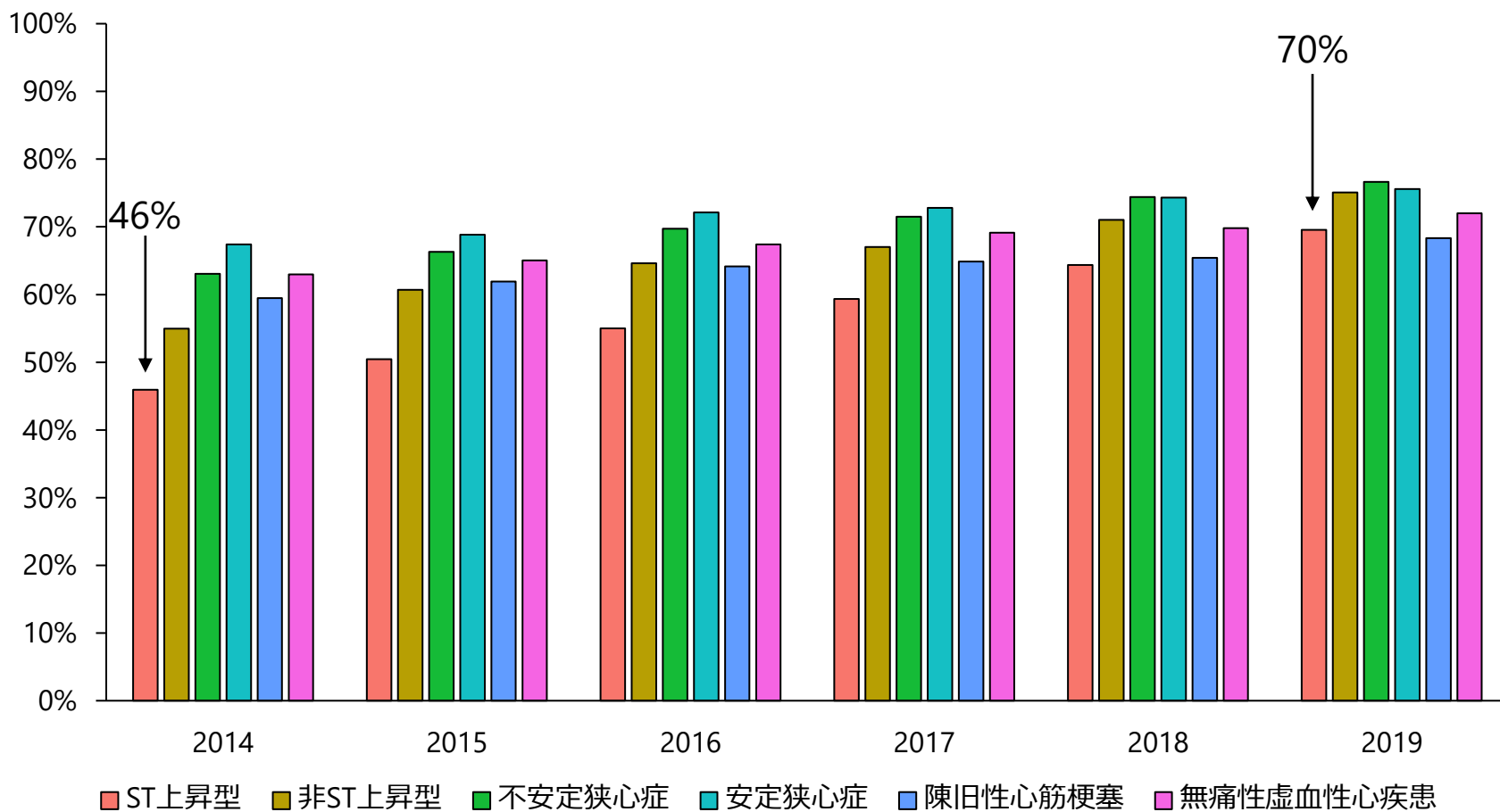
術前の画像・負荷検査の内訳



合併症

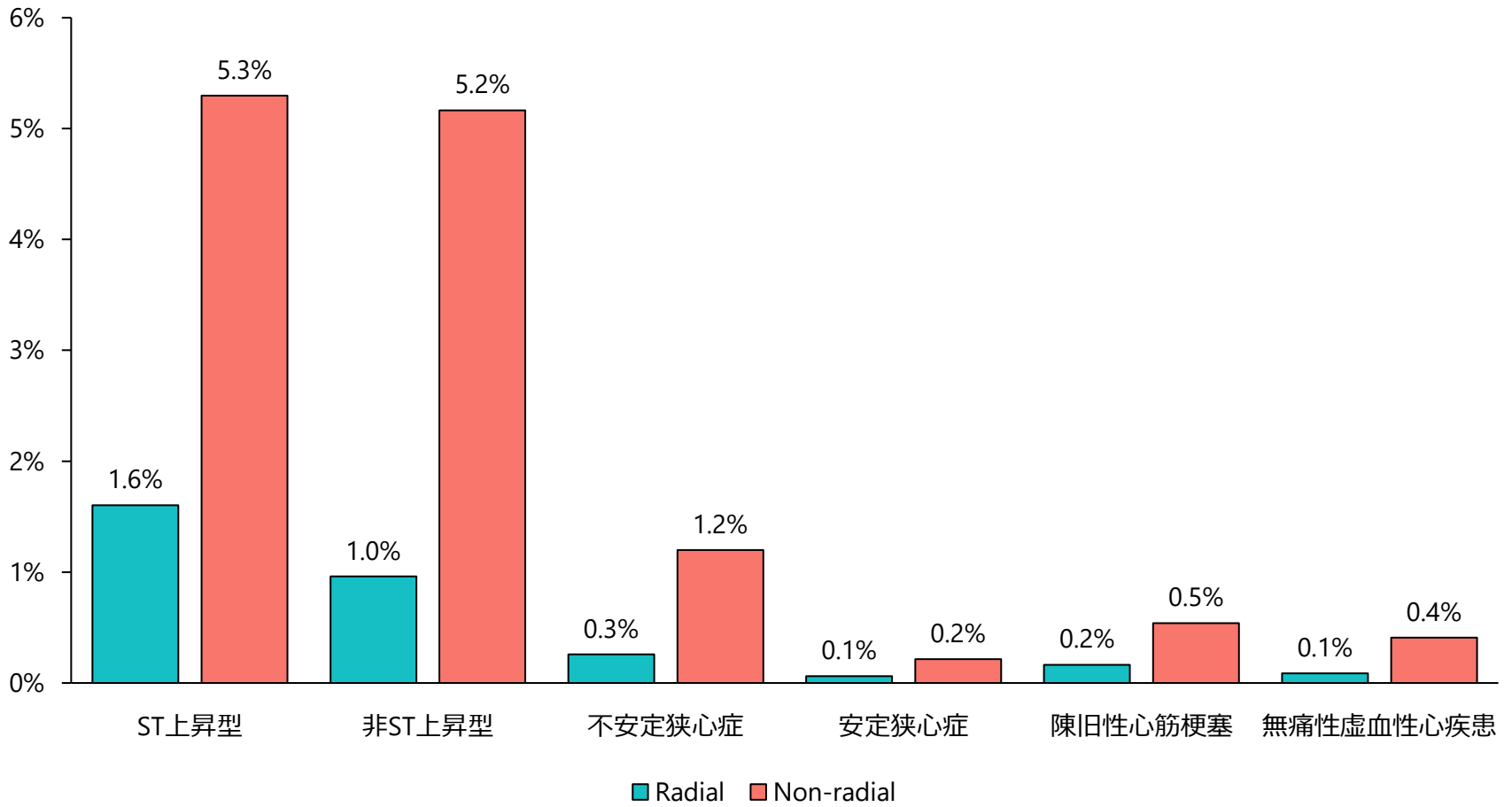


橈骨動脈アプローチ

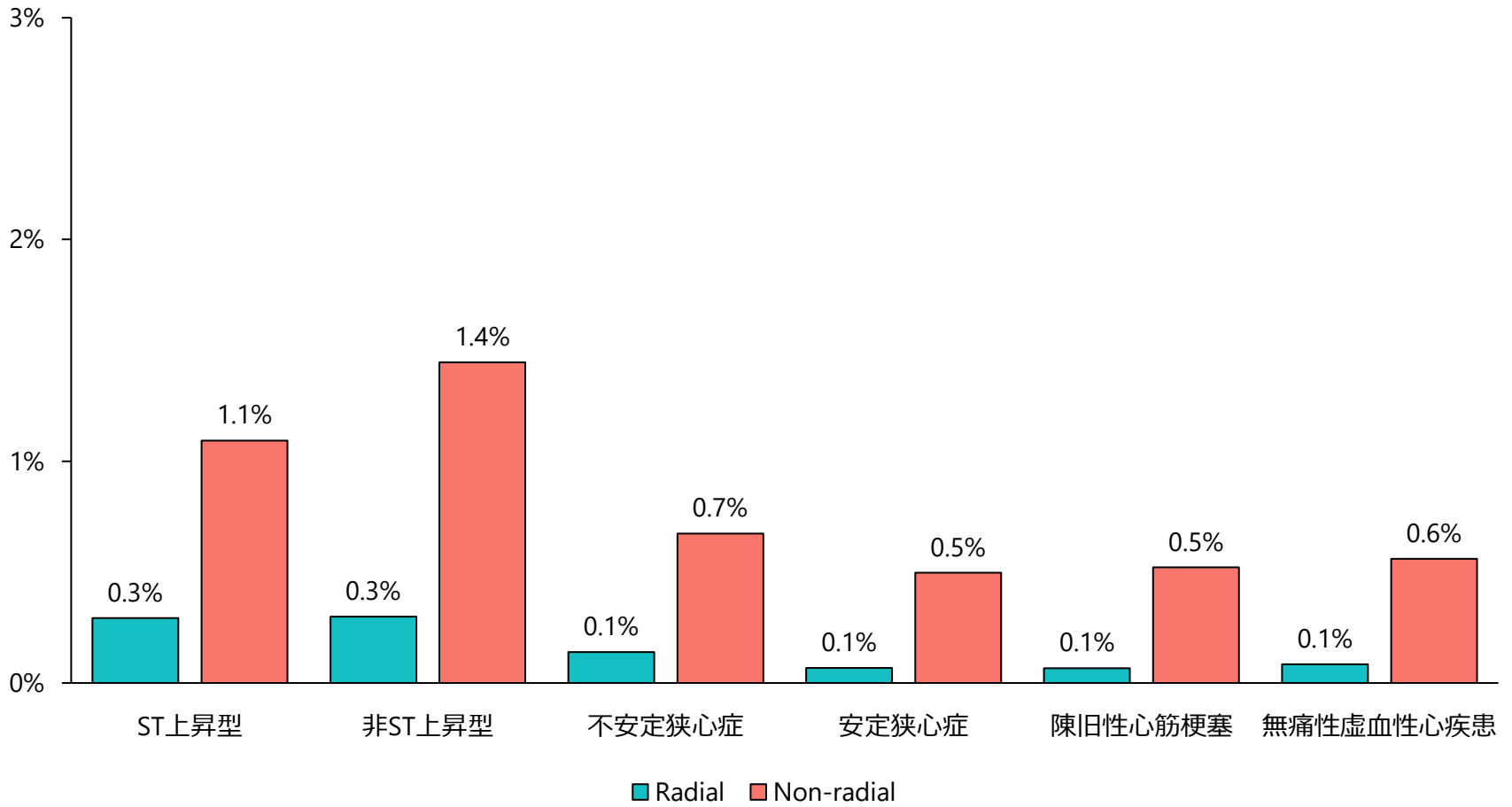


Staged PCIを除く

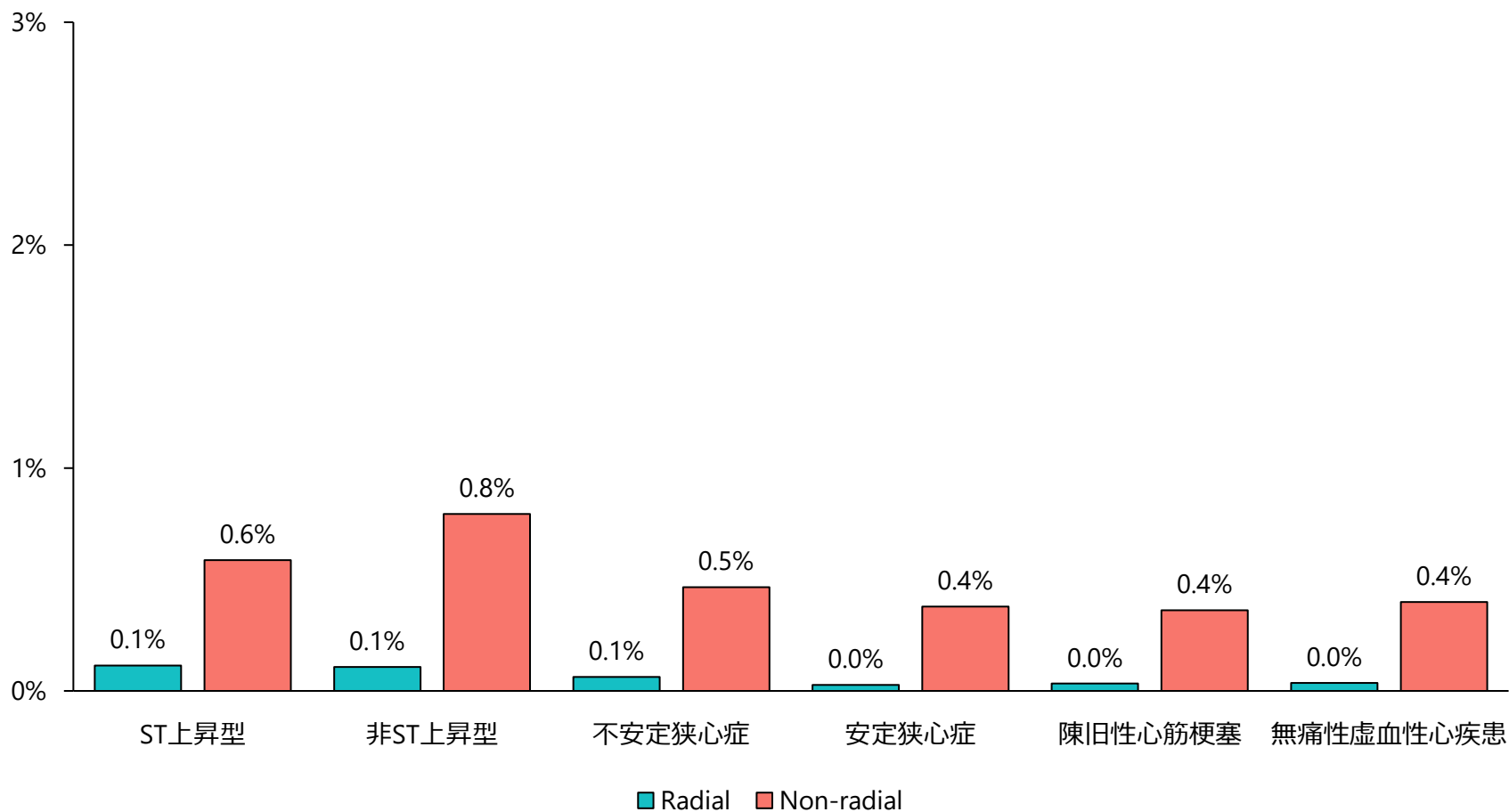
院内死亡



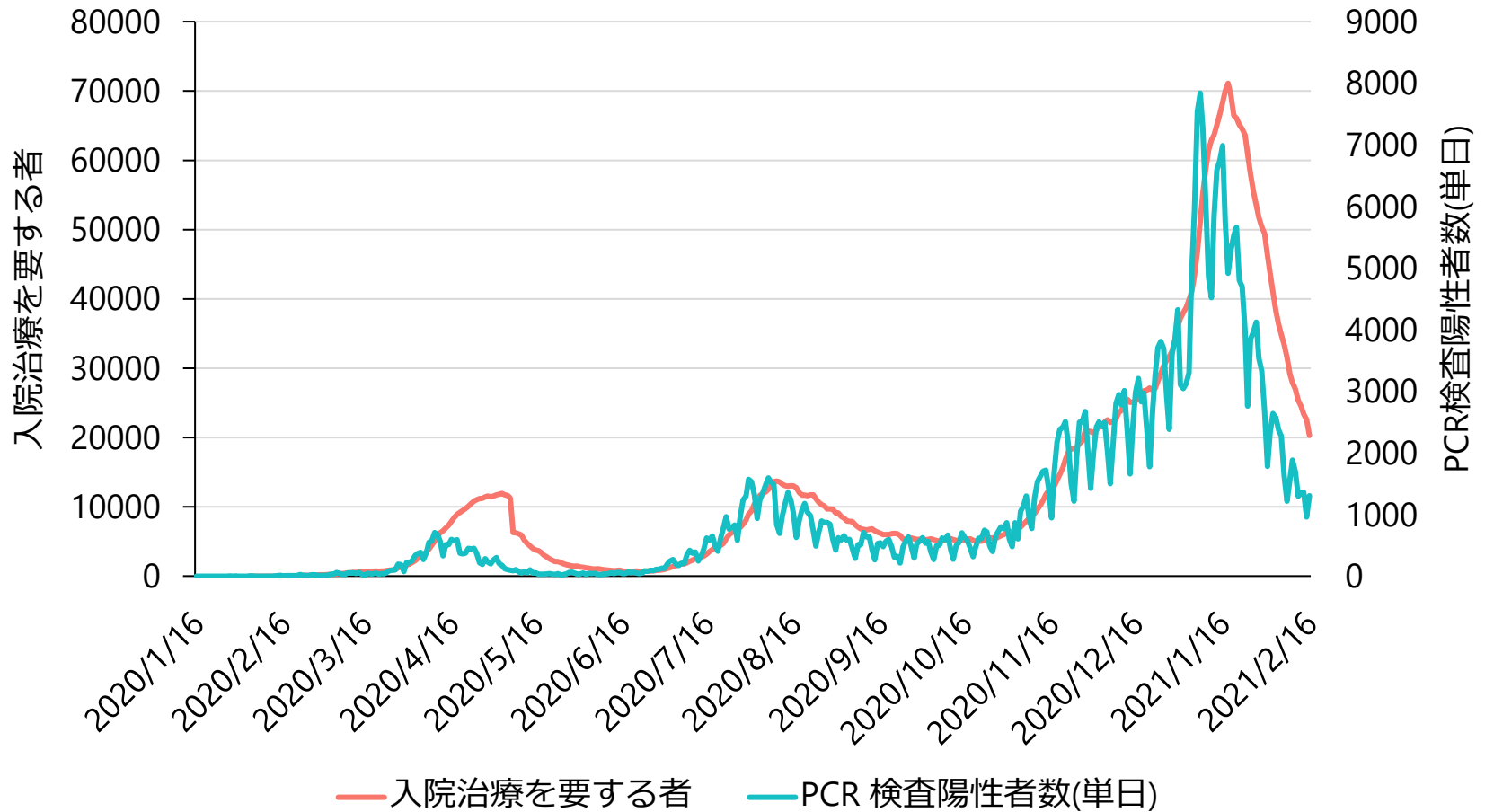
すべての出血性合併症



アクセスサイトの出血性合併症



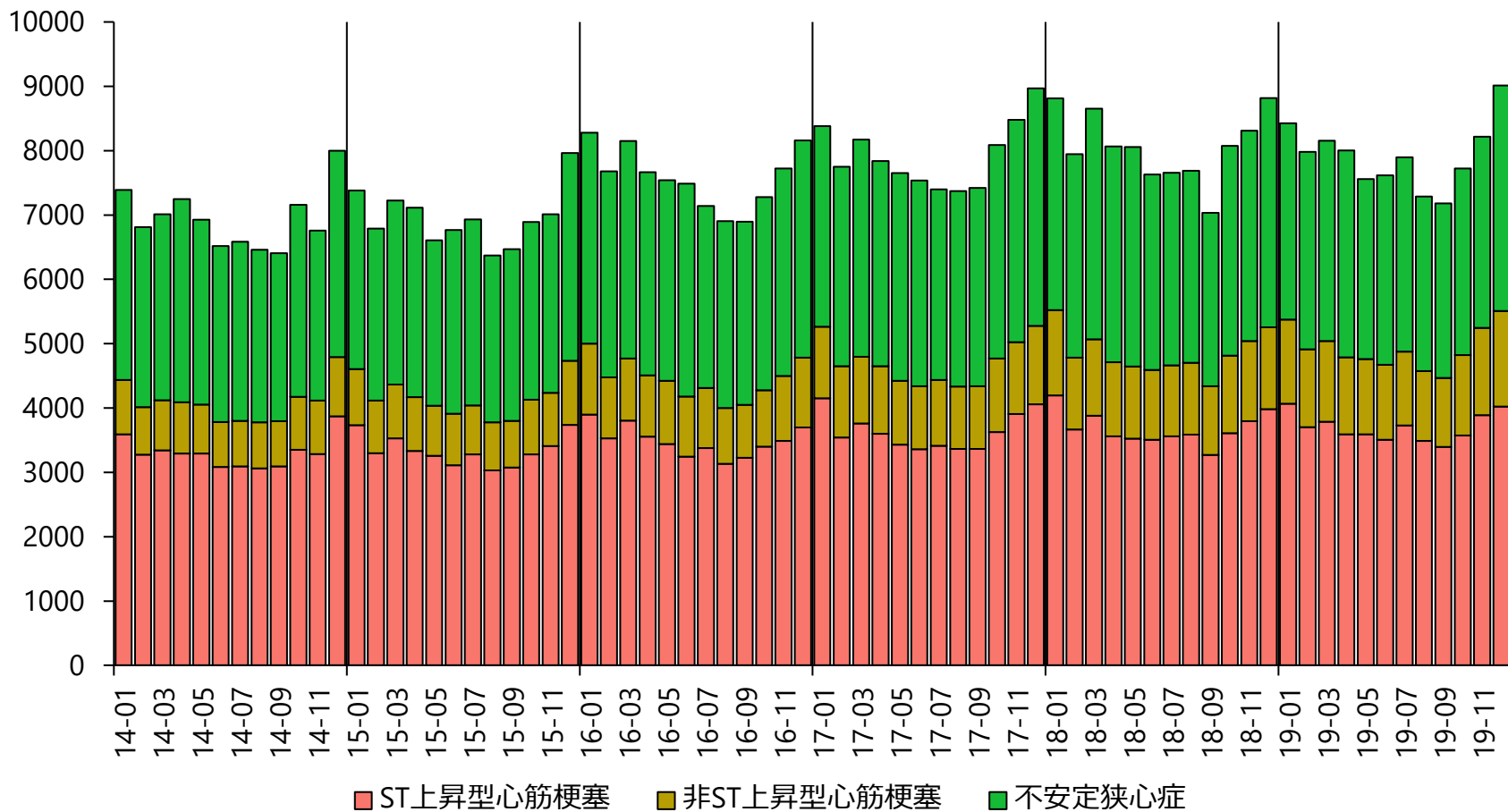
COVID-19



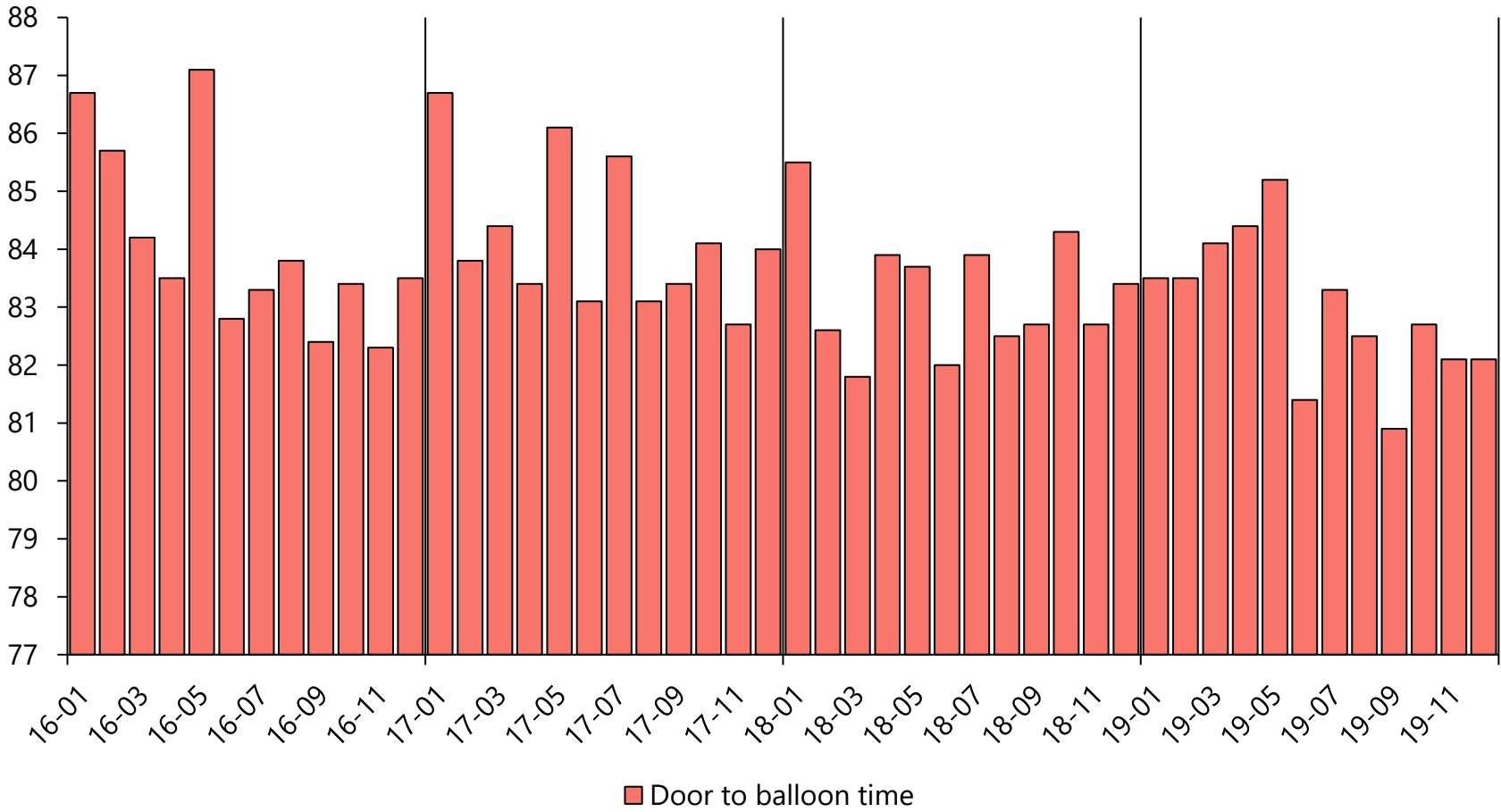
厚生労働省 オープンデータ

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>

診断名



DOOR TO BALLOON TIME



THANK YOU FOR YOUR ATTENTION!

- 年間約25万件の症例が、1187施設から登録登録されており、合計1,452,229件となっています。
- 高齢化を反映し、5年間で平均年齢は1歳上昇していました。
- リスク因子として脂質異常症、腎不全に増加傾向がみられました。
- 比較は困難ですがNSTEMIが増加傾向であり、安定狭心症が減少傾向でした。

THANK YOU FOR YOUR ATTENTION!

- 保険改定後のFFRの件数増加は、2019年にとどまり、月に約1500件程度と安定していました。
- 2019年は院内死亡の入力で死因などが追加され、入院中の死亡についてのデータ入力がより正確になっているようです。

THANK YOU FOR YOUR ATTENTION!

- STEMIで撓骨動脈アプローチが増加傾向であり、そのほかの診断と同程度の70%となっていました。
- 撓骨動脈アプローチで行われた症例は合併症の頻度が明らかに低いことが示されました。

THANK YOU FOR YOUR ATTENTION!

- COVID-19は1例目の陽性が2020/1/16であり、現時点で解析可能な2019年のデータでは評価困難でした。
- Door to balloon timeは減少傾向であり、これがどの程度COVID-19になって変化が見られたかは明らかにしなければならないと考えられます。